

教育事業別報告書

事業名	リフレッシュ・キャンプ 福島復興支援事業なすかしドリームプロジェクト
趣 旨	東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県。子どもたちの中には、想像を絶する体験をし、悲しみにうちひしがれ、未来への希望を見失いかけている子どもも少なくない。そのような厳しい状況の中でも、家族や子どもたちを取り巻く地域社会の絆のおかげで、被災地は力強く復興に向けて歩み始めている。このことは、世界的な視野から見ても日本人としての誇りを感じずにはいられない。そこで、今回の教訓を踏まえ、さらにこれからの福島の未来を築いていく子どもたちに夢と希望を持って、力強く歩んでいってもらうために、様々な体験を通して、福島復興の方策を検討し、その成果を那須甲子から世界に向けて発信する。
期 間	平成24年7月29日(日)～8月12日(日)14泊15日
募集人員 (募集結果)	心身ともに健康で、全日程参加できる福島県内(県外に避難している方も含む)の小学5・6年生の男女 20名 (参加者人数22人:6年生9名 男8女1,5年生13名 男11女2)
事業の特色	
<p>福島の未来を担う知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育てることを目的に、プログラムを企画した。特に、復興教育(防災学習,放射能学習)や,様々な自然体験活動(那須連山縦走登山,阿武隈川源流探検,100kmウォークなど),15日間のプログラムを通して,たくましく生きる子どもたちを育てることを目的とした。</p> <p>1日目 出会いのつどい,仲間づくり,オリエンテーション,グループミーティング 2日目 東京消防庁本所防災教育センターでの参加体験型学習(防災教育) 3日目 東京消防庁第3消防方面本部消防救助機動部隊(ハイルレスキュー隊)の見学学習 新白河駅での帰宅困難体験(新白河駅構内に宿泊) 4日目 福島大学河津先生による放射能学習,キャンプトレーニング(炊飯の仕方,テントの設営) 5日目 那須甲子連山縦走登山1日目 峠の茶屋 峰の茶屋 清水平 三本槍岳 須立山 坊主沼避難小屋泊 6日目 那須甲子連山縦走登山2日目 坊主沼避難小屋 甲子山 甲子大橋 前半のふりかえり(作文,家族への手紙等) 7日目 相馬方面での被災地学習(新地高校生及び仮設住宅の方々との交流) 8日目 阿武隈川源流探検(源流にある雄滝,雌滝の見学) 9日目 いわき方面での被災地学習(アマリノふくしま,いわき海星高校,スプリング・トリップ) 10日目 福島大学生との交流,福島県庁訪問,復興庁福島復興局訪問(副大臣との対話) 11日目 100kmウォーク1日目 自然の家 羽鳥湖オートキャンプ場泊 12日目 100kmウォーク2日目 羽鳥湖オートキャンプ場 猪苗代湖畔秋山浜キャンプ場泊 13日目 100kmウォーク3日目 秋山浜キャンプ場 国立磐梯青少年交流の家 14日目 ラピスパ裏磐梯での活動,お別れパーティー 15日目 別れのつどい,2週間の感想発表</p>	
  	
<p>【新白河駅での帰宅困難体験】 【福島復興局訪問】 【100kmウォークゴール】</p>	
事業の成果と課題	
<p><事業の成果> 大変ハードなプログラム内容だったが,参加者,ボランティアリーダー,スタッフがそれぞれ協力し合い,大きなケガもなく無事に終了することができた。参加保護者からの感想に目を通すと,当初の目的を120%達成できたと感じている。普通の子もたちが仲間と協力することによって想像以上に大きな力を発揮することや,福島の復興にはたくさんの人との協力が必要なことがわかった。</p> <p><事業の課題> ・次年度,さらに復興に向けてどのようなプログラムにしていけるべきか,どのような他施設と連携していけるべきか検討していかなければならない。</p>	
その他	
<p>・なすかしの看板事業として継続実施していく。</p>	